

平成 27 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルランド
代表者名 代表取締役社長 上西 京一郎
(コード番号 4661 東証第 1 部)
問合せ先 広報部長 宮内 良一

東京ディズニーランド、東京ディズニーシー。今後の開発構想 大規模開発エリアのテーマ方針を一部決定

2014 年 4 月 28 日に発表した、オリエンタルランドグループ「2016 中期経営計画」(2015 年 3 月期～2017 年 3 月期) に関し、東京ディズニーランド、東京ディズニーシーの今後の開発構想の検討について、進捗状況をお知らせいたします。

既にお知らせしている通り、当社では今後 10 年間 (2015 年 3 月期～2024 年 3 月期) で、テーマパーク事業に 5,000 億円レベルの投資を実行してまいります。

東京ディズニーランドでは、「ファンタジーランドの再開発」をコンセプトに、ファンタジーランドの面積を約 2 倍へと拡張する大規模なエリア開発構想を、東京ディズニーシーでは、ロストリバーデルタの南側の拡張用エリアに、8 つ目の「新テーマポートの開発」を検討しております。

この度、この開発構想において、東京ディズニーランドの「ファンタジーランドの再開発」を複数のエリアで構成し、その一部をディズニー映画『美女と野獣』、『ふしぎの国のアリス』をテーマとする方向性といたしました。また、東京ディズニーシーの「新テーマポートの開発」は、一部のエリアをディズニー映画『アナと雪の女王』の世界をテーマとし、新テーマポートの全体テーマを「北欧」とする方向性といたしました。いずれのエリアも、東京ディズニーリゾートオリジナルのアトラクションやレストランなどを導入し、世界でここだけの魅力あふれる新エリアとして開発する方針です。

	東京ディズニーランド 「ファンタジーランドの再開発」	東京ディズニーシー 「新テーマポートの開発」
概要	大型アトラクション、商品店舗、飲食店舗等、複数の施設からなるファンタジーランド全体の再開発	大型アトラクション、商品店舗、飲食店舗等、複数の施設からなる新テーマポートの開発
テーマ	ディズニー映画『美女と野獣』、『ふしぎの国のアリス』などをテーマとした複数のエリアで構成	「北欧」をテーマとした新テーマポート ※ディズニー映画『アナと雪の女王』の世界を体験できるエリアも含む
導入時期	2017 年度以降	2017 年度以降
開発エリア	現在のファンタジーランド全域 (刷新)、およびトゥモローランド、駐車場、バックステージの一部 (エリア拡張) ※現在のファンタジーランドが約 2 倍となる規模	ロストリバーデルタの南側に隣接する拡張用エリア ※アラビアンコーストとほぼ同規模

《構想イメージ》



東京ディズニーランド ファンタジーランド 『美女と野獣』をテーマとしたエリア



東京ディズニーランド ファンタジーランド 『ふしぎの国のアリス』をテーマとしたエリア



東京ディズニーシー 「北欧」をテーマとした新テーマポート

《開発エリア》



©Disney

※本リリースに使用している画像は全てイメージで、現時点での構想段階のものです。今後変更になる場合があります

※本リリースは、2015年12月22日付のリリースに基づき、「当社では、これらの方向性をもとに、『ファンタジーランドの再開発』ならびに『新テーマポートの開発』をさらに進め、2015年中にはエリアの詳細をお知らせする予定です。」の一文を削除したものです